

改革工程表2(年度別実行計画)

団体(会計)名及び 部局・課名	医療大学付属病院特別会計	保健福祉部厚生総務課
改革遂行責任者	保健福祉部長・厚生総務課長 総務部長・財政課長	

改革方針	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【1 付属病院の基本的方向の検討】 ○大学の付属施設としての機能強化及び 県内リハビリテーション医療の中核的機能 の充実を図る	医療大学新改革プランの策定 ・ワーキングによる課題抽出	・外部有識者による検討 (フィードバック)			
【2 アクションプランの推進】 ○大学と病院一体として効率的・効果的に 運営していくとともに、アクションプランに基 づく経営改善を推進しながら、支出の削 減、収入の確保を図り繰入金を縮減してい く		第2次アクションプラン改訂版 (H26～H30)の検証・見直し 第3次アクションプランの策定	第3次アクションプラン(H29～H33)の推進・進行管理、検証・見直し		
	繰入金の縮減				
【教育研究機能の充実】 臨床教育講師を中心とした実習システ ムの充実を図る	(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・臨床実習体制の強化 目標:臨床教育講師数(平成30年度までに42人)	(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す	(目標)臨床教育講師数の更なる向上		
	(目標)38人 【40人】	(目標)39人 【41人】			
【政策的なリハビリテーション医療の推進】 平成26年10月から回復期病棟にお いて開始した365日リハビリテーション により、リハビリテーション医療の充実 を図る	(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・回復期病棟における患者1人あたりのリハビリテーション実施単位数の向上 目標:回復期病棟における患者1人あたり実施単位数7単位 リハ実施単位数の向上(365リハによるリハ医療の向上)	(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す	(目標)リハ実施単位数の更なる向上		
	【6.59単位】				
【経営改善の推進】 地域医療連携部をより一層強化し、急 性期病院からの患者の確保に努める	(第2次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す ・病床利用率の向上 目標:病床利用率(全体)85%	(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現化を目指す	(目標)病床利用率の更なる向上		
	(目標)84% 【84.8%】				
	「脳卒中地域連携パス」の運用、連携病院との意見交換会、急性期病院への空床情報の提供				

※ ←→ は改革期間及び推進事項を表示
 ※ []は目標達成状況、【 】は修正後の目標を表示